

元気

まち物語

2013.12



結いの会

を何とかして活用しないか」という提案でした。そこで森野清和会長が文化や福祉関係の人たちに呼び掛け、現地を何度も訪れ協議し、昨年6月に正式に発足しました。

新たな交流の場「結いの丘」

豊浦町厚母郷にある梅光学院大
学旧梅ヶ峠キャンパス。10年もの
間使用されていなかった施設が、
「結いの丘・梅ヶ峠」として、新し
い文化創造の場として生まれ変わ
りました。この場所で活動してい
るのが「結いの会」の皆さんです。

新たな文化創造の場を

「結いの会」は、旧梅ヶ峠キャン
パスを大学と市民の協働による新
たな文化創造・交流の広場として
活用する市民グループです。現在
会員は35人。陶芸家、画家、漫画
家、ステンドグラス作家、手紡ぎ
作家などの芸術家や障がい者福祉
グループ、音楽活動グループ、ド
キュメント映画上映グループなど、
さまざまな分野の人たちが集まっ
ています。

発足したきっかけは、梅光学院
大学側からの「梅ヶ峠キャンパス

現在、図書館だった建物を中心
に、さまざまな団体がアトリエや
事務所、コンサート、漫画図書館
としての公開などを行う場所とし
て利用しています。会員は、もの
づくりをしても自由に発表す
る場所が無かったため、こういう
場所が生まれて非常にうれしいと
のことです。「分野が違うもの同士
が集まり、お互いの作品などを見
て刺激し合い、創作意欲が生まれ
る」と、皆さんは話してくれました。
取材当日は「クリエイターズフェ
スタ関門」が開催されていました。
ジャンルを越えたあらゆる分野の
作品展示や販売など、観て、聴い
て、触れて、食べて、幾つも楽し
ていました。芸術・文化を通して
さまざまな交流が生まれ、新しい
創造の場・結いの丘が活気あふれ
る一日となりました。

施設は誰でも使えます！

誰でも使える施設であることを
PRすることが当面の目標とのこ
と。現在、個人のアトリエ、団体
の活動拠点としての利用希望が多
く、今後は他の建物の利用も検討
しています。

「とにかく目いっぱい、しらか
ずにやってみよう！ やったら必
ず形になる。次の展開が生まれる
場所を生かせば、地域の皆さんも
喜ぶし、学校も喜ぶ。地域の元気
につながると思うから、今後も大
学と連携して、学生と一緒にこの
場所を活用していきたい」と森野
会長は語ってくれました。

新しい創造の場「結いの丘・梅
ヶ峠」にぜひ一度出掛けてみては
いかがでしょうか。

★一緒に活動しませんか★

園結いの会事務局 ☎774-0269

- ①漫画実演中
- ②陶芸展示・販売(黄孫窯)
- ③ハンドメイドアクセサ
リーのワークショップ
- ④結いの会の皆さん(最前
列中央が森野清和会長)
- ⑤公開された手紡ぎ工房
- ⑥ステンドグラス工房で
のワークショップ

